



# 鹿児島県食肉輸出促進協議会

## 『鹿児島和牛』・『かごしま黒豚』 18の国と地域へ！

### 【主な品目】

牛肉， 黒豚肉

### 【主な輸出先国・地域】

牛 肉：香港， 台湾， 米国， EU 等

黒豚肉：香港， シンガポール， マカオ 等

### 【輸出取組の概要】

- ◆ オールジャパン体制と連携した，県産牛肉，黒豚肉の認知度向上
- ◆ 輸出国における食品展示会でのPR活動及び商談
- ◆ 商談後のフォローアップに料理・カット技術者を派遣し，多様な部位の販売促進
- ◆ 新たな輸出国での輸出促進



| 【輸出実績】 | 牛肉<br>輸出量(t) | 黒豚肉<br>輸出量(t) |
|--------|--------------|---------------|
| 令和2年度  | 1,482        | 69            |
| 平成元年度  | 1,142        | 50            |
| 平成30年度 | 1,390        | 37            |

※県内食肉輸出認定施設からの輸出実績



### 【取り組む際に生じた課題】

- ・ 外国産WAGYUの先行による日本(鹿児島県)産和牛の認知度の低さ
- ・ 高級部位(ロース・ヒレ)以外の多様な部位の需要の低さ
- ・ Eコマースでのスライス肉需要の高まりに対する供給体制の不足 等



↑ カット技術者の派遣  
等商談のフォローアップ

### 【生じた課題への対応】

- ・ オールジャパンの活動と連携した産地紹介PR活動，生産者による生産状況PR
- ・ 多様な部位(カタ・モモ等)の販売推進のためのカット技術指導者の派遣
- ・ 海外販売指定店制度の推進，海外カット技術者の招へい等フォローアップ活動

### 【対応の結果】

- ・ 「KAGOSHIMA WAGYU」・「KAGOSHIMA KUROBUTA」の認知度向上
- ・ 多様な部位の需要増加
- ・ 新たな輸出国での輸出拡大



↑ 生産者による生産状況  
プレゼンテーション

### 【今後の課題・展望】

- ・ 輸出国での継続的なPR活動と認知度向上
- ・ 販売指定店制度の推進，GI登録による差別化
- ・ 生産者の輸出に対する一層の理解醸成と生産意欲の向上
- ・ Eコマースニーズへの対応及び更なる多様な部位の販売促進



【活用した施策・施策】 —

【ウェブサイト】 <http://k-meat.net/>



↑ 新規輸出国でのPR

【連絡先】 鹿児島県農政部畜産課内 鹿児島県食肉輸出促進協議会事務局、TEL:099-286-3216